



サービス提供責任者
吉田理枝さん



松崎 勝さん



管理者兼サービス提供責任者
向井順子さん



野村花英さん

カラース 訪問介護で 働く皆さん



カラース

中原敬子さん



カラース

宇野芳江さん



カラース

サービス提供責任者
吉田和正さん

訪問しました!

キラキラ へる★ぱる

仕事に誇りを持ち、キラキラ輝いているホームヘルパー
仲間の「へるぱるさん」を紹介するコーナー。
「へるぱる」とは、「ヘルパー」に友達や仲間を
意味する「パル」を重ねた造語です。
今回はサービスの品質を大切に
事業所を訪ねました。



事業所の前に置かれた温かみのある手書きの看板。「[心豊か]で『その人らしい』暮らしを応援します」のメッセージとともに、様々なサービス内容が記されている。

「一人ひとりの個性に合わせて 自分の親や大切な人に 勧められるサービスを」

株式会社カラース
カラース 訪問介護 (東京都大田区)

※スタッフとはソーシャルディスタンスを保ったうえ、撮影時のみマスクをはずしてもらっています。
一部、2020年3月以前に撮影した写真も含まれています。

取材・文/佐藤ゆかり 撮影/中村年孝

どんな
事業所
ですか？

多世代共生の地域づくりを 目指して様々なニーズにチャレンジ！

介護事業のみならず、放課後等デイサービス、産前産後家事サポート、訪問美容サービス、特定相談支援など多彩な事業を展開。地域のニーズに応じてきた結果、自然な流れで、赤ちゃんから高齢者まで、多世代をサポートする今の形になったそう。



地域の「困った」を
解決したい！

事業所内研修では、訪問介護に関するだけでなく「地域のために何が出来るか」をテーマに考えることも。



放課後等デイサービスに通う子どもたちと地域の清掃活動に参加(写真右)。商店街の人と一緒に田植え(写真左)。

福祉用品の開発

カラースの介護知識と 町工場や企業の技術が合体！



服薬支援・見守りロボット
FUKU助

軽い力で傾斜のある道もラクラク
直進軽快車いす
Colors



「傾斜のある道も楽に進める車いすがあれば」など、利用者やスタッフのニーズをもとに地元の町工場や企業と共同開発。「地域の人を巻き込み、みんなで『どうすればできるか』を考えて挑戦する。そこから新しい商品が誕生しています」と管理者兼サービス提供責任者の向井順子さん。



操作性のよい車いすを作るため、町工場の人やデザイナーなどと打ち合わせ中。

訪問美容

美容師免許を持つサービス 提供責任者の発案で実現

「ご利用者を支援する中で、『外出が難しいけれど美容室に行きたい』といったお声が多く、『美容で生きる力を引き出したい!』という思いで提案しました」と話す吉田理枝さん。口コミで利用者が増え、今では事業の柱のひとつに。



1か月に
30~40件を
訪問しています

研修& セミナー

スキルアップだけでなく、 介護への理解を深める講演も



当社の研修センターで外部に向けたマンツーマン介護講座を実施(写真右)。「ご本人の希望に沿った内容が好評で、栃木など遠方からの参加者もいます」と講師を務める向井さん。小学生に自助具の使い方を説明したり、地域の老人会で介護について講演(写真左)したりといった取り組みも。

子育て支援

療育、家事代行、産後ケア など多角的にサポート



ママと赤ちゃんと一緒に参加できるイベント「赤ちゃんタッチ」(写真右)、放課後等デイサービス(写真左)などを展開。

カラース 訪問介護



居宅介護支援、福祉用具貸与、介護人材育成事業、放課後等デイサービスなどを展開する(株)カラースの訪問介護事業所。

住所 東京都大田区大森西6-2-2
STビル1階

Tel. 03-5767-5215

HP <http://www.colors-g.co.jp/>

「そのための技術とともに『なぜ、こうするのか』の理由を必ず伝えていきます。理屈がわかると自分で考え、臨機応変な対応ができるようになります」と管理者兼サービス提供責任者の向井順子さんも話します。

また、働きやすさも特長のひとつ。子育て中や親を介護している人もいるため、「スタッフ一人ひとりの事情を把握し、学校行事や親の通院などの際には、シフトの変更を快く受け入れるなど、全員で協力し合う体制ができています」(向井さん)。

質の向上を目指し、
納得の研修を提供

訪問介護を柱に多彩な事業を展開している株式会社カラースは、介護の質を何より大切にしています。「自分の親や大切な人に勧めたいサービス」をモットーにお客様の個性や状態に合わせた介護を提供すべく、研修等に取り組んでいます」と代表取締役の田尻久美子さん。研修では自分で考えることを大切にしているそう。



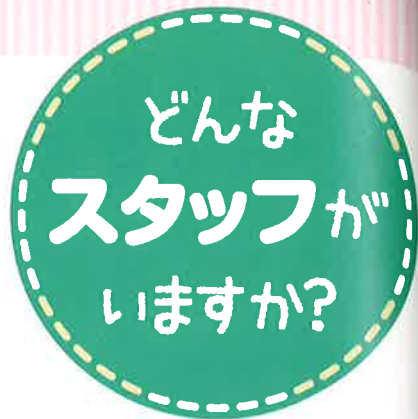
時間があくと
テキストを開いています

介護福祉士を目指し、 実務者研修の勉強中！

50歳のときに当社で介護職員初任者研修を受講。その後、パートのホームヘルパーとして3年半働く野村花英さん(54歳)。今は会社の補助を受け、介護福祉士を目指している。「介護現場で支援を経験しているからこそ、テキストや講座の内容がよくわかります。テキストを読むことで初心に返れ、実体験を土台に勉強できるのがうれしいです」。



夫と2人の息子と4匹の猫と暮らす。「近くの空き家に捨てられた子猫を保護して7~8年。4匹とも大切な家族です」



研修資料を
作成しています



趣味は洋裁。息子さんのバッグやマスクを手作り。「ソーイングの時間に癒やされるし、うまくできるとうれしくて!」



通董かも訪問も
自転車で♪

スタッフの研修を支える 縁の下の力持ち

2人の息子を持つシングルファーザーの吉田和正さん(50歳)。営業職から有料老人ホームへ転職して6年4カ月、「子どもとの時間を大切にしたい」とカラスズに入社して5年。現在はサービス提供責任者として事業所内の研修担当に。資料作成や密にならないよう予定を調整し、講師を務めることも。



趣味は神輿担ぎ。お子さんが幼い頃は一緒に参加したこともあるそう。「そんな息子たちも社会人と高校1年生になりました」。

訪問介護だけでなく ガイドヘルパーも担当

「手に職をつけたい」と資格を取得し、登録ホームヘルパー歴7年の宇野芳江さん(48歳)。「下の子が幼稚園のときから働いています。『ママ〜』と事業所に来る息子をみんながかわいがってくれる働きやすい職場だから続けられました」。3年前には介護福祉士の資格を取り、視覚障害者のガイドヘルパー(同行援護従業者)としても活躍中。

教えて!

withコロナの取り組み

感染対策はもちろん、スタッフのサポートも大切にしていました。



士気を高める豪華お弁当

「公益財団法人 風に立つライオン基金」の助成金をもとに、コロナ禍で頑張っているスタッフに慰労と感謝の気持ちを込めて、地元商店街から購入した豪華お弁当を提供。



防護服やゴーグルも しっかり完備

マスクや手洗いなど基本の徹底はもちろん、利用者や同居家族に陽性もしくは陽性の疑いがあった場合、迅速に対応できるように、常に備えている。

